



平成28年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成27年10月13日
東

上場会社名 株式会社パスポート 上場取引所
 コード番号 7577 URL <http://www.passport.co.jp>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 水野 純
 問合せ先責任者（役職名） 常務取締役管理本部長（氏名） 久保田 勝美 (TEL) 03(3494)4497
 兼総合企画部長
 四半期報告書提出予定日 平成27年10月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年2月期第2四半期の業績（平成27年3月1日～平成27年8月31日）

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年2月期第2四半期	5,511	△0.9	73	—	58	—	6	—
27年2月期第2四半期	5,564	△12.1	△125	—	△151	—	△174	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
28年2月期第2四半期	1.31		—					
27年2月期第2四半期	△34.49		—					

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年2月期第2四半期	5,449	629	11.5
27年2月期	5,599	646	11.5

(参考) 自己資本 28年2月期第2四半期 629百万円 27年2月期 646百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年2月期	—	0.00	—	5.00	5.00
28年2月期	—	0.00			
28年2月期(予想)			—	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年2月期の業績予想（平成27年3月1日～平成28年2月29日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,300	0.1	200	—	150	—	50	—	9.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更に関する注記

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

28年2月期2Q	5,270,000株	27年2月期	5,270,000株
----------	------------	--------	------------

② 期末自己株式数

28年2月期2Q	218,981株	27年2月期	218,981株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

28年2月期2Q	5,051,019株	27年2月期2Q	5,051,019株
----------	------------	----------	------------

発行済株式数に関する注記

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しています。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3)業績予想の将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

当社は、平成27年10月15日に機関投資家およびアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。その模様および説明内容(音声)については、当日使用する決算説明会資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	5
4. 四半期財務諸表	6
(1) 四半期貸借対照表	6
(2) 四半期損益計算書	8
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に、企業収益や雇用環境は緩やかな回復基調にあります。しかしながら、個人消費につきましては、円安による物価上昇や、消費税増税後の常態化した節約志向もあり、業種によってはインバウンド効果による需要増もみられますが、総じて先行きが不透明な状況で推移しました。

幅広いジャンルの商品が含まれる雑貨というカテゴリーは、ライフスタイルの提案や均一価格、テイストの統一感や客層の絞り込み等によって、各企業がそれぞれのブランドの店舗や業態の差別化で、存在価値を高めようとしております。そうした競争環境の中で、当社はお客様に選ばれる店舗を目指して『MDリフォーム(品揃え改修)』や、『C/S(お客様満足)向上』に取り組んでまいりました。商品部主導で直輸入のPB(プライベートブランド)商品開発を行い、営業ブロック長は店舗ごとのお客様ニーズに対応してNB(ナショナルブランド)商品を仕入れ、『Passport』ブランドの最適な品揃えで、お客様に「カワイイ生活」、「やさしい生活」をはじめのご提案をしております。

更に、お客様には気持ちの良いお買物をしていただくため、継続してミステリーショッパーによる全店舗の「C/S(お客様満足)調査」を行い、対応のスキルアップを目指しております。

また、オリジナルキャラクターとして復活した「はんなり豆腐」クッションは、今期「はんなり豆腐はろうきてい」としてコラボ商品が開発され、更に多くのお客様に大好評を得ております。これらのキャラクター商品を中心にネット通販事業も拡大を図り、当第2四半期累計期間のネット通販売上高は前年比300%超の勢いで成長を続けております。

当第2四半期累計期間の出退店の状況は、直営店が「P3style by Passport」ブランドで1店舗、「Passport」ブランドで1店舗出店し、「Passport」ブランドで6店舗退店いたしました。

フランチャイズ店は「Passport」ブランドで1店舗退店しております。また、「Passport」ブランドで直営店2店舗を改装いたしました。その結果、当第2四半期会計期間末の店舗数は、直営店が146店舗、フランチャイズ店が14店舗で計160店舗となりました。(尚、当第2四半期会計期間末の店舗数には含まれておりませんが、池袋サンシャインシティアルタに短期契約による催事店舗を「Passport」ブランドで出店しております。)

これらの結果、当第2四半期累計期間における売上高は5,511百万円(前年同四半期比0.9%減)、営業利益73百万円(前年同四半期は125百万円の営業損失)、経常利益58百万円(前年同四半期は151百万円の経常損失)、四半期純利益6百万円(前年同四半期は174百万円の四半期純損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

【資産】

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べて150百万円(2.7%)減少し、5,449百万円となりました。

流動資産は、前事業年度末に比べて26百万円増加し、3,370百万円となりました。これは、主に商品が235百万円、未着商品が14百万円、受取手形及び売掛金が8百万円減少したものの、現金及び預金が215百万円、その他が未収入金の増加などにより68百万円増加したことによるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べて177百万円減少し、2,078百万円となりました。これは、主に有形固定資産が42百万円、無形固定資産に含まれるソフトウェアが29百万円、敷金及び保証金が96百万円減少したことによるものであります。

【負債】

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末に比べ133百万円(2.7%)減少し、4,820百万円となりました。

流動負債は、前事業年度末に比べて215百万円減少し、3,189百万円となりました。これは、主に1年内返済予定の長期借入金が95百万円増加したものの、短期借入金が204百万円、未払法人税等が12百万円、その他が未払費用及び預り金などの減少により73百万円減少したことによるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べて81百万円増加し、1,630百万円となりました。これは、主に社債が210百万円、リース債務が25百万円が減少したものの、長期借入金が337百万円増加したことによるものであります。

【純資産】

当第2四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べて16百万円(2.6%)減少し、629百万円となりました。これは、主に25百万円の配当により資本剰余金が減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は、前事業年度末に比べ215百万円(21.7%)増加し、1,211百万円となりました。

【営業活動によるキャッシュ・フロー】

営業活動による資金の増加は324百万円であり、前年同四半期に比べ265百万円(450.2%)の収入増となりました。

これは、税引前四半期純利益33百万円の計上と減価償却費の計上94百万円、たな卸資産の減少249百万円等の収入によるものであります。

【投資活動によるキャッシュ・フロー】

投資活動による資金の減少は40百万円であり、前年同四半期に比べ59百万円(前年同四半期は19百万円の収入)の収入減となりました。

これは、敷金及び保証金の回収による収入24百万円はあったものの、有形固定資産の取得35百万円、敷金及び保証金の差入13百万円等の支出によるものであります。

【財務活動によるキャッシュ・フロー】

財務活動による資金の減少は68百万円であり、前年同四半期に比べ15百万円(28.7%)の支出増となりました。

これは、長期借入金530百万円の収入はあったものの、短期借入金の減少204百万円、長期借入金の返済97百万円、社債の償還220百万円、リース債務の返済36百万円、配当金25百万円等の支出があったことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月期の業績予想につきましては、平成27年4月13日に公表いたしました予想に変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性がありますことをご了承願います。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

当第2四半期累計期間 (自 平成27年3月1日 至 平成27年8月31日)
当社は、短期借入金のうち、動産担保融資契約に基づく400,000千円には遵守事項があり、その内容は次のとおりであります。 (1) 各事業年度末時点での貸借対照表における純資産額を平成21年2月期決算期末時点の金額の75%以上(761,568千円以上)に維持すること (2) 各事業年度末時点での貸借対照表における棚卸資産の回転月数を2.0ヶ月以下に維持すること (3) 各事業年度末時点での経常利益について、2期連続でマイナスとしないこと 前事業年度末は、これらの遵守事項の一部に抵触致していますが、当第2四半期累計期間におきましては、取引銀行からは上記状況を認識いただいた上で、既存借入金の融資継続に応じていただいています。また、第1四半期会計期間に取引銀行より530百万円の長期借入金を調達しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、前事業年度において重要な営業損失の発生および営業キャッシュ・フローのマイナスにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が見受けられます。

しかしながら、当社はこれらの事象又は状況を解消又は改善すべく、これまで進めてまいりました「MDリフォーム（品揃え改修）」の取り組みを一段と強化いたしました。さらに、収益性の改善に向けて、店舗及び商品センターの在庫圧縮に取り組み、物流関連コストの削減を中心に、これまで進めてまいりました経営体質改善にも積極的に取り組んでまいります。

当第2四半期累計期間におきましては、営業利益および営業キャッシュ・フローのマイナスという状況からは脱却できておりますが、「MDリフォーム（品揃え改修）」「C/Sレベルアップ」「コスト削減」を引き続き推進することで、収益力の安定化を図ってまいります。

資金面に関しましては、取引金融機関からの継続的な支援協力を得ており、第1四半期会計期間に調達した長期借入金530百万円のほか、短期的な借入による運転資金の調達をしており、今後とも資金調達や資金繰りの安定化に努めてまいります。

以上により、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	995,369	1,211,363
受取手形及び売掛金	511,105	502,597
商品	1,645,956	1,410,668
未着商品	40,295	26,205
その他	150,954	219,640
流動資産合計	3,343,681	3,370,475
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	366,477	348,125
工具、器具及び備品(純額)	123,845	100,462
その他	15,998	15,554
有形固定資産合計	506,321	464,142
無形固定資産	145,669	115,944
投資その他の資産		
破産更生債権等	6,399	—
敷金及び保証金	1,548,432	1,451,534
その他	55,781	47,067
貸倒引当金	△6,399	—
投資その他の資産合計	1,604,213	1,498,602
固定資産合計	2,256,204	2,078,688
資産合計	5,599,885	5,449,164
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,456,743	1,459,632
1年内償還予定の社債	440,000	430,000
短期借入金	804,980	600,000
1年内返済予定の長期借入金	115,700	211,000
リース債務	62,105	50,862
未払法人税等	35,263	23,089
賞与引当金	28,760	27,030
その他	461,290	388,188
流動負債合計	3,404,843	3,189,802
固定負債		
社債	720,000	510,000
長期借入金	253,500	591,000
リース債務	67,614	42,072
退職給付引当金	263,734	261,637
資産除去債務	160,195	157,675
その他	83,956	67,841
固定負債合計	1,549,000	1,630,227
負債合計	4,953,844	4,820,029

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年2月28日)	当第2四半期会計期間 (平成27年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	369,266	369,266
資本剰余金	292,300	267,045
利益剰余金	33,400	40,008
自己株式	△60,552	△60,552
株主資本合計	634,414	615,767
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	11,627	13,367
評価・換算差額等合計	11,627	13,367
純資産合計	646,041	629,134
負債純資産合計	5,599,885	5,449,164

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
売上高	5,564,432	5,511,793
売上原価	2,773,190	2,723,947
売上総利益	2,791,241	2,787,846
販売費及び一般管理費	2,916,661	2,714,625
営業利益又は営業損失(△)	△125,419	73,221
営業外収益		
受取利息	119	46
受取配当金	238	289
破損商品等弁償金	74	177
受取補償金	—	2,100
保険配当金	2,307	6,219
雑収入	2,567	2,021
営業外収益合計	5,308	10,853
営業外費用		
支払利息	14,858	17,460
社債発行費	7,680	—
支払手数料	6,213	5,026
為替差損	2,830	2,004
雑損失	155	1,076
営業外費用合計	31,736	25,568
経常利益又は経常損失(△)	△151,848	58,506
特別損失		
固定資産除却損	568	8,470
店舗閉鎖損失	14,864	10,960
減損損失	6,700	5,828
特別損失合計	22,133	25,259
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△173,981	33,247
法人税、住民税及び事業税	14,500	14,000
法人税等調整額	△14,288	12,639
法人税等合計	211	26,639
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△174,193	6,607

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年3月1日 至平成27年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△173,981	33,247
減価償却費	125,722	94,856
減損損失	6,700	5,828
賞与引当金の増減額(△は減少)	△22,990	△1,730
退職給付引当金の増減額(△は減少)	590	△2,096
受取利息及び受取配当金	△358	△335
支払利息	14,858	17,460
社債発行費	7,680	—
店舗閉鎖損失	14,864	10,960
固定資産除却損	568	8,470
売上債権の増減額(△は増加)	△243,554	8,508
たな卸資産の増減額(△は増加)	86,426	249,377
仕入債務の増減額(△は減少)	176,976	2,888
その他	95,620	△54,998
小計	89,123	372,438
利息及び配当金の受取額	358	335
利息の支払額	△15,153	△19,538
法人税等の支払額	△15,319	△28,536
営業活動によるキャッシュ・フロー	59,009	324,697
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△48,528	△35,210
敷金及び保証金の差入による支出	△1,709	△13,924
敷金及び保証金の回収による収入	97,351	24,637
その他	△27,818	△15,933
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,295	△40,431
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△270,000	△204,980
長期借入れによる収入	250,000	530,000
社債の発行による収入	341,935	—
長期借入金の返済による支出	△68,800	△97,200
社債の償還による支出	△205,000	△220,000
リース債務の返済による支出	△41,962	△36,785
割賦債務の返済による支出	△24,083	△14,218
配当金の支払額	△35,142	△25,088
財務活動によるキャッシュ・フロー	△53,052	△68,272
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	25,251	215,994
現金及び現金同等物の期首残高	1,008,673	995,369
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,033,925	1,211,363

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、インテリア雑貨販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。